

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」名古屋校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員又は保育士を1名以上配置（常勤換算による算定）しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		カーテン等でスペースを仕切り、個室で集中できるようにしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日職員参加のミーティングを実施しています。目標設定を行い、各自担当をもって実施しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様へ事業所評価アンケートを実施し、業務改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当社ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は利用者・社内の二者評価をとっております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討いたします。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			初任者研修を行なうとともに、月に1回、外部講師による勉強会を行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一したアセスメントシートを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			お子様の事例を共有し、議論するケース検討会を開催し、活動プログラムの立案を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			お子様一人ひとりの特性や興味に合わせて、効果的に楽しく学べるプログラムになるよう工夫しています。お子様が自発的に適切な行動をとったり、学びやすい環境を作ったりしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	集団活動については現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討いたします。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日朝礼を実施し、職員間での情報共有を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ミーティングを随時実施し、職員間での情報共有を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回指導記録をとり、見直すことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			適切な時期にモニタリング、会議を行い、見直しの必要性を判断しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者をはじめ教室内全てのスタッフがお子様の状態を把握し、チームでの支援を展開しています。会議には児童発達支援管理責任者と担当するスタッフ1名程度で参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		必要に応じて、学校の先生やスクールカウンセラーのご要望にお応えする形で、支援方法に関するご提案を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療職スタッフがいないため、医療的ケアが必要なお子様の受け入れに際しては、主治医等のご意見を確認した上で、慎重に判断しています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	相談支援事業所を通して情報共有をしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	必要に応じて、連絡票等を用いて直接情報提供できる体制を整えていきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			外部専門家による研修や教材・プログラムの監修を受けています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	地域交流については、限られた指導時間の中での交流が難しいことから、現在実施しておりません。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会・児童グループ・全体会等、積極的に参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の支援終了後に、保護者様へフィードバックの時間を設けています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	必要に応じて支援後のフィードバック時に、家庭での対応方法についてアドバイスしています。

保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧にご説明するとともに、事業所内に重要書類を掲示しています。
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			主に支援後のフィードバック時に相談に応じています。
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	開校日等の都合上、保護者会等は開催していませんが、ご要望に応じて検討していきます。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			いただいた相談や申し入れに対しては、迅速かつ適切な対応を心掛けています。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	教室外、廊下等に活動内容やイベントのご案内を掲示しています。
	⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子様、保護者様の状態に応じて、意思疎通や情報の伝達ができるように配慮しています。
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個人情報等に配慮しつつ、指導の様子を公開したり、教室開放の時間を設けることも検討していきます。
	非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
⑲		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月1回の防災訓練を実施しています。
⑳		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止のマニュアルを作成し、研修を実施しています。
㉑		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束が必要な場合は個別支援計画に記載した上で説明、了承いただきます。
㉒		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	対象のお子様については、指導時に該当物質との接触が起こらないように留意していきます。
㉓		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が起こった際には、報告書を作成・保管し、情報共有と対策を行っています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」名古屋校

保護者等数（児童数）：32 回収数：25 割合：78%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	5		法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員又は保育士を1名以上配置(常勤換算による算定)しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	9	3	スロープや手すりなどが必要なお子様は現在通所していませんが、今後もし必要なお子様が通われるときは適切に対処していきたいと思えます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	22	3		計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	24	1		(はい)こちらの希望を聞いていただいている。 →お子様一人ひとりの特性や興味に合わせて、効果的に楽しく学べるプログラムになるよう工夫しています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		9	16	地域交流については、限られた指導時間の中での交流が難しいことから、現在実施していません。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	2		(はい)先生、教室とのコミュニケーションについて、質・量ともに大きく改善を感じる。方針も明確になり、きらりでのご指導を踏まえ、家庭でやるべきこともよく見える。 →今後も支援後のフィードバック時などに気になることがあった時はすぐにお伝えし、また保護者様から伺ったお話についても職員で共有していきます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	7	1	支援後のフィードバック時に、家庭での対応方法についてアドバイスしています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		12	13	開校日等の都合上、保護者会等は開催していませんが、ご要望に応じて検討しています。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	6		いただいた苦情に対してはすぐに全職員で共有し、会議で対応等について決定ののち、迅速かつ適切に対処しています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	2		支援後のフィードバック時に、家庭での対応方法についてアドバイスしています。

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	8	2	教室外、廊下等に活動内容やイベントのご案内を掲示しています。また、自己評価の結果もホームページにて公開しています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	19	6		(はい)よく管理されている。 →個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	25			(はい)実際の厳密な管理の姿を、保護者や本人に感じさせない心遣いがさらに加味されていて、非常に良いと思う。 →各マニュアルを策定し、研修を実施しています。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25			
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	22	3		(はい)先生との相性が良いようで、これまでになく、また、他環境ではないような積極的な発言がみられる。何より本人が通所を楽しんでいる。 (はい)最後にゲームなど楽しいことがあるので勉強も頑張れる。 →嬉しいご意見ありがとうございます。お子様が笑顔で楽しく通っていただけるような事業所であるように、今後も職員一同努めていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	23	2		(はい)一般の教本で補えないような、対話式のコミュニケーション訓練が、非常に本人の成長に寄与している。会話の中に、さりげない教訓や指導も織り込まれており、先生や教室に非常に感謝している。 (はい)色々と考えて下さり、また話も聞いてもらえて感謝しています。 (はい)きちんと子どもと向き合い、その子に見合った授業を考えて下さり、感謝の気持ちでいっぱいです。勉強だけでなく、子どもとの接し方も学ばせて頂いております。 →今後も日々知識を深め研修などで指導力を磨き、お子様の更なる成長のお手伝いができるように精進してまいります。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。